

札幌市スポーツ推進計画改定版の施策体系－目標（案）の検討

第2期スポーツ基本計画の方針や、これまでの取組状況から導いた、今後札幌市が重視しようとする視点

※ 第1回審議会で事務局が提示したキーワード

●スポーツ参画人口の拡大

●スポーツを通じた共生社会の実現

●スポーツを通じた経済・地域の活性化

●冬季オリンピック・パラリンピック招致

第1回審議会での意見（キーワード）

キーワード「個人」「市民」

①	市民参加	高齢者・子ども	子ども参加による親のスポーツ	スポーツができる働き方	誘い合い、働きかけ
②	身近にできる施設	熱中症対策(安全・安心な環境)	継続性	安全なスポーツ環境(サイクリング)	
③	身体を動かすこと	心身の健康	健康を損なわないスポーツ	冬季のスポーツ	
④	する・みる・ささえる	きっかけづくり	プロスポーツの影響	指導者の育成	競技力向上
	スター選手の育成	アマスポーツの支援	観戦のきっかけ 応援する楽しみ		

- ①⇒ 市民のライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ②⇒ スポーツに親しむ環境の提供
- ③⇒ スポーツを通じた市民の健康増進
- ④⇒ 様々な形・場のスポーツ参加を促進

キーワード「社会」「さっぽろ」

①	共生社会	心のバリアフリーと施設のバリアフリー	ユニバーサルデザイン	学校開放、地域の協力	多様なスポーツ
	「する」楽しさ	きっかけづくり	スポーツを通じた交流		
②	トップアスリートの指導＝観光	アスリートの有効活用	「する」きっかけとなるトップスポーツ	プロとアマの共生	夢ある札幌ドーム
	さっぽろの強み	冬季のスポーツ	地域の特性	魅力あるランニングコース	安全なスポーツ環境(サイクリング)
	マラソン＝観光	札幌ドームの有効活用	観光客	合宿誘致	

- ①⇒ スポーツを通じた共生社会の実現
- ②⇒ スポーツを通じた経済や地域の活性化、札幌のスポーツ資源を生かしたスポーツの楽しみ方

キーワード「世界」「未来」「グローバル」

①	オリパラ招致	RWC・東京2020→冬季オリパラへ	5年、10年を見据えた	国際的スポーツイベント	マラソン＝観光
②	合宿誘致	スポーツを通じた交流	観戦のきっかけ 応援する楽しみ	スポーツしやすい施設環境	観光客
	札幌ドームの有効活用	トップアスリートの指導＝観光	さっぽろの強み	冬季のスポーツ	
③	スター選手の育成	アマスポーツの支援	部活の生徒数減少	指導者の育成	競技力向上

- ①⇒ オリパラ招致活動、国際的スポーツイベントの開催を通じた都市ブランドの向上
- ②⇒ 札幌の魅力を世界へ発信
- ③⇒ オリパラ等を好機に未来を担う世代の世界への飛躍を支援

目標（案）

仮【目標1】スポーツの力で「市民」が輝く

市民が地域で「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに関わり、心身の健康増進、生きがいに満ちた生き方をを目指す

方針
施策

仮【目標2】スポーツの力で「さっぽろ」をみがく

スポーツの力によって、社会の課題を解決したり、まちを活性化させたりすることで、さっぽろを磨きあげていくことを目指す

方針
施策

仮【目標3】スポーツの力で「世界」へつながる

世界が憧れるまちを目指し、冬季オリパラ招致や国際大会の開催などを通じてウインタースポーツ拠点都市としてのブランドを高め、その魅力を世界に発信する。

方針
施策

引き続き『スポーツ元気都市さっぽろ』の未来をつくる

引き続き『スポーツ元気都市さっぽろ』の実現